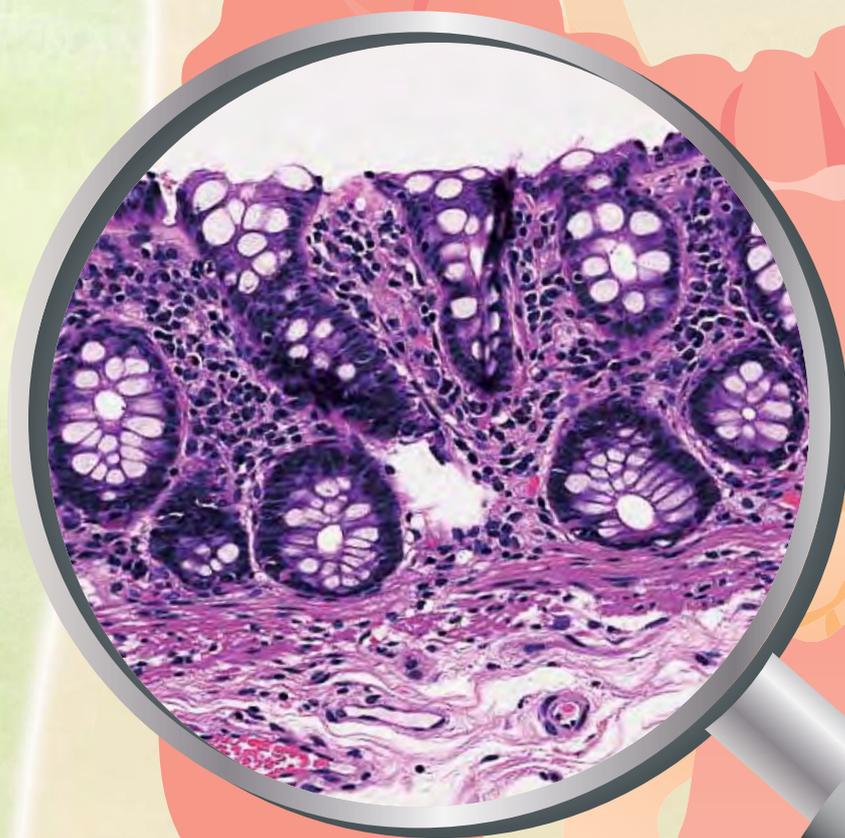


大腸のふしぎ



2015年9月10日(木)

2016年2月21日(日)

常設展

近代から現代への医学の歩み

医学部と附属病院の150年

入場無料

開館時間 10:00 ~ 17:00

お昼休み 12:00 ~ 13:00 最終入場 16:30

休館日

毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は開館
年末年始 12月28日(月) ~ 2016年1月4日(月)
センター試験 2016年1月16日(土)、17日(日)

問合せ先 「健康と医学の博物館」事務室

住所 〒113-0033

TEL 03-5841-0813 E-mail mhm@m.u-tokyo.ac.jp

東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内
医学部総合中央館(医学図書館)地下1階



2011年の博物館開館より4年8ヶ月が経過し、これまで80,000名を超える来館者にお越しいただきました。日頃からのご支援・ご協力に、改めて感謝を申し上げます。

第9回企画展では、「大腸」を取り扱います。「大腸」とは消化管の一部で、小腸と肛門の間に存在する器官です。その役割は、水分や一部の栄養素の吸収、細菌による食物繊維の発酵などです。また、吸収されなかったものを、便として排泄するまでの間、とどめる器官でもあります。その構造と機能の不思議さをお見せします。

また、大腸にもいろいろな病気がおこります。その代表的なものは、「大腸がん」です。現在、この病気での死亡率は常に上位を占めております。大腸を診る各種方法や検診の重要性、そして、大腸の代表的な病気を取り上げます。

最後に、大腸の病気に対する治療を紹介します。内視鏡を用いた手術から腹腔鏡手術までその方法、そこで使用される医療機器を展示します。また、人が操作するロボットが行う手術を映像でご覧いただけます。手術後のトピックとして、ストーマ(人工肛門)もお見せします。

大腸について情報が氾濫している今、大腸の医学と医療について、正しい理解を深めていただく機会になれば幸いです。

Zone 1

大腸のなぞ
(構造・機能)

Zone 2

大腸を診る

Zone 3

かか
大腸が罹る病気

Zone 4

大腸を守る
(東大の取り組み)

常設展

近代から現代への医学の歩み

医学部と附属病院の150年

150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績・歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。

初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書、医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。

東京大学医学部総合中央館(医学図書館) B1F

健康と医学の博物館



本郷三丁目駅(地下鉄丸ノ内線) 徒歩 8分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩 6分

湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩 8分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩 10分